

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2025-2026 年度テーマ

よいことの
ために
手を取りあおう

第 66 代会長 加瀬 義明
第 66 代幹事 小澤 雅彦

painted by Kenzo Tanaka

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティーレ茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2026 年 1 月 15 日(木) 第3135回例会 天候: 晴れ 司会: 平賀裕祥副幹事 No. 24

≡ 本日の例会行事 ≡

- | | | |
|------------------------|---|---------------|
| ◇歌唱 「我等の生業」「覇気あれ我がクラブ」 | ◇会長挨拶 | ◇幹事報告 |
| ◇委員会報告 [IM 実行委員会ほか] | ◇卓話 大箭剛久君 (第 2780 地区第 4 グループガバナ
ー補佐) 『ガバナー補佐 半期報告』 | ※例会後、クラブ協議会開催 |

◎幹事報告

- ◆ガバナー事務所より
- ◆ロータリー米山奨学会より

◇2025-2026 年度 下期普通寄付金のお願い

◆タウンニュース

スマイル報告 [木村邦佑会員]

加瀬義明君 & 小澤雅彦君 大箭 AG、半期報告よろしくお願い致します。本日、例会終了後にクラブ協議会も開催しますので少しだけお残り頂けますようお願い致します。

成田栄二君 大箭 AG、卓話よろしくお願ひします。クラブ協議会欠席します。

田中賢三君 大箭ガバナー補佐、本日の卓話よろしくお願ひします。クラブ協議会、欠席します。

和田幸男君 大箭ガバナー補佐、半期報告よろしくお願ひします。

澤邑重夫君 昨日は利き酒の会に呼んでいただき、いつもの通りねむいのですが、ソングリーダーをしていて、覇気あれ我がクラブの指揮が最後にずれていきました。しかし、河本さんに聴いてみたら、途中で 4 分の 2 拍子が入っているからずれるんだよと教えてもらいました。長いこと歌っていたのに全然気づきませんでした。

杉田祐一君 大箭 AG、半期お疲れ様でした。卓話楽しみにしております。2/1 の IM への皆様のご協力、どうぞよろしくお願ひいたします。

大箭剛久君 娘の友達で、最近の子には珍しくやたら義理人情について熱く語る子がいるというので、彼女のことを『義理人お嬢(ぎりにんおじょう)』と呼ぶことにしました。

大林一茶君 寒晴れや 友と快音 楽しき時

木村邦佑君 大箭さん、卓話拝聴致します。

橋本正一君 大箭さん、卓話楽しみです。

征木太郎君 本日も宜しくお願ひ致します。

富田桂司君 本日はクラブ協議会よろしくお願ひ致します。昨日はどんと焼きをはしごとなりました。ちょっと煙くさいかもしれませんのが容赦ください。火事も多いようですので、皆様御注意くださいませ。

平賀裕祥君 早くも年月が経ちました。エンジンかけて頑張ります。

樋口康雄君 先週末、橋本さんに引率され、京都・西本願寺報恩講法要にお参りさせていただきました。ありがとうございます。大箭 AG、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

大森竜太郎君 皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。後厄の年もなんとか乗り越えましたので今年は精一杯暴れ回る年にしたいと思います。

島崎英之君 大箭さん、ガバナー補佐お疲れ様です。卓話宜しくお願ひ致します。

大森翔平君 先日は京都旅行お疲れ様でした。オオヤさん、卓話、いつも通りぶっ放してやってください。

[本日 18 件、23,000 円です]

俳句同好会 (一月句会より)

裸木をなで豊作だ祝い酒	木村信一
新築の畳香りてひなたぼこ	
彩雲に包まれて明け年の朝	中山富貴子
外は風コクリコクリと日向ぼこ	
七草の椀のとなりに猪口二つ	小山里枝様(津久井中央RC)
餅つきを窓際で聴く杖の友	
水仙花そなえて父母と談笑す	佐藤省三様(相模原西RC)
愛猫と求めでさがす日向ぼこ	
鳩に豆人に饅頭日向ぼこ	大箭剛久
たかが人生還暦の年越し蕎麦	

出席報告 佐藤則夫会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
1/15	3135	45	43+1	35	4	5	88.64%	



クラブ協議会での発言者。左上から上原・山口裕哉・秋本・佐藤・安武・古知屋・木村信一・大竹・和田・杉田・樋口・小澤・澤邑・大森翔平の各会員。右は澤邑ソングリーダー

クラブラーニング卓話 大箭剛久会員 『ガバナー補佐 半期報告』



おおやたけひさ
1964年3月10日生れ O型
職業分類：機械機器 D
株式会社丸越 代表取締役
2013年5月入会
多様性を認め、お互いを尊重し合うことがクラブの原動力

皆さん、こんにちは。先週、加瀬会長・小澤幹事の半期報告があったところですので、私もガバナー補佐の半期報告をさせていただければと思います。半期報告と言っても、実際にはガバナー補佐研修の始まった頃からのお話となりますので、限られた時間の中でいろいろと端折りながらご紹介できればと思います。

その前に、最近は当クラブも新会員が増え、ガバナー補佐って何となく大変そうだけど、いったい何？という方もいらっしゃると思いますので、まずはガバナー補佐について簡単にご説明しておきたいと思います。

ガバナー補佐は、文字通りガバナーを補佐するのが役割です。ガバナーの任務については、国際ロータリー細則16.030項に記載がありますが、簡単にまとめると「RI役員として、地区内のクラブを啓発し、意欲を与える」となります。これを補佐するのがガバナー補佐であり、その役割はDLP（地区リーダーシッププラン）を規定している国際ロータリー章典17.030.1の中で定義されています。こちらの9項目ですが、かなり抽象的です。これをもう少し具体的に言うと、

- ・グループ内のクラブを年間4回以上訪問し、クラブの現状を把握し、改善すべき問題点があればガバナーと協議の上、助言、指導する。また、各ロータリークラブでガバナー公式訪問の準備を行う。
- ・クラブ会長（エレクト）が目標を設定してロータリークラブセントラルに入力し、その目標を達成できるように支援する。
- ・関係委員会と連携し、クラブから各種セミナーや地区大会に多数の会員が参加するように推進したり、奉仕プロジェ

クト・補助金プロジェクトにクラブやグループが積極的に取り組むように、クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたる。

- ・将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。
- ・ガバナー補佐主導によるグループ内の親睦、学び、奉仕を積極的に推進する。

（「学びの場」としてのIMを開催する。）

ガバナー補佐の制度が導入されたのはRIが2002年にDLP（地区リーダーシッププラン）を採択してからです。それ以前は分区代理という制度がありました。各分区（今でいうグループ）ごとの取りまとめ役を毎年各グループから選任し、地区との調整役を担うというものでしたが、RIが公式に任命するものではなく、RIとしてはガバナーの方針を各クラブに落とし込むために、公式の役職として分区代理に代わるガバナー補佐を設置する必要があると考えました。これにより、従来の分区代理が各分区ごとに選任していたのに対し、ガバナー補佐の任命権はガバナーエレクト（ノミニー）に付与される形となりました。とはいえ、当地区では現在10グループである訳ですが、現実には全てのグループのガバナー補佐を指名できるほど人脈を持っているガバナーエレクトは稀で、各グループに推挙の要請が来るケースも珍しくありません。第4グループでも、各クラブの事情等に鑑み、若干順番が前後することがあります、原則として輪番制を維持しながら臨機応変に対応してきているのが現状です。

さて、私がガバナー補佐の正式な委嘱状を受理したのは2024-25年度の1月ですが、実際には前の年の10月からガバナー補佐の研修が始まります。10月から6月まで毎月1回の計9回、地区ラーニング委員会の計画に則って行われます。地区ラーニング委員会は会長エレクトの研修であるPELS、クラブリーダーシップラーニングセミナー（通称CLLS；旧地区研修協議会）、次年度の地区委員長クラスの研修を行う地区チームラーニングセミナーなど、地区的年間の研修計画を立案・実施する委員会で、前年度は当クラブの田中PGが委員長を務めていらっしゃいました。研修内容としては表のように、ロータリーにまつわる事柄を9回に分けてひと通り教えていただきます。

これと併せて、ファシリテーター研修を数回行いました。ファシリテーターというのはテーブルディスカッションを

行う際の進行役です。ガバナー補佐はテーブルディスカッションを伴う地区のセミナーなどではファシリテーターに任せられるケースが多いため、スムーズに会議を進行させるためのコツなどについて学びました。

11月の補佐研修では、次年度のスケジュールについて、グループ内各クラブの周年行事の有無の確認や、IM日程の希望日の調整などがすでに始まります。次年度のカレンダーは、遅くとも3月のPELSまでに間に合わせる必要がありますので、まず主要な行事を確定させてから、ガバナー公式訪問や地区セミナーの日程などを順次決めていくことになります。もちろん、地区大会などはもっと前から会場を押さえています。地区カレンダーをベースにして各クラブの次年度の予定が決まっていきますので、このスケジューリングは地区としては極めて重要な作業となります。

また、ガバナー補佐研修と並行してMy RotaryのLearning Centerというページにある研修資料を視聴して補佐としての心構えなども学んでおくことになります。こちらは「就任の準備」という一つのコース名の修了証ですが、この他、地区内クラブへのサポート、ロータリー行動計画の実行、など7つのコースをすべて修了する必要があります。会長・幹事を始めとするクラブリーダーも、エレクトの時にこのMy RotaryのLearning Centerにある研修資料を視聴して、試験に合格することが求められますが、同様のことがガバナー補佐にも求められるわけです。

3月のPELSを過ぎると、いよいよガバナー補佐も次年度への準備が本格化して来ます。前任者からガバナー補佐の引き継ぎ書をいただき、ガバナーエレクトから発信される「各クラブ会長へのお願い」の内容と合わせ、各クラブへの連絡のため、次年度の会長幹事会を開催します。会長幹事会というのは、7月以降、毎月開催されるガバナー補佐連絡会議の内容を各クラブにお伝えしたり、各クラブからの報告事項を確認したりするために、ガバナー補佐が各グループの会長幹事の皆さんを招集して開催する会議ですが、当該年度が始まる前の段階から次年度の準備のために開催しています。こちらが第1回次年度会長幹事会の次第です。

また、これと併せまして、各クラブにはMy Rotaryのクラブセントラルに次年度の目標値を入力していただくなどのお願いをしています。クラブセントラルは各クラブの数値目標を管理するツールであると同時に、地区ガバナーと情報共有するための手段でもあります。ガバナーは地区内全クラブ、ガバナー補佐は担当グループ内各クラブの情報を確認できるシステムとなっており、新年度の始まる前に入力を済ませていただいているかの確認や、補佐訪問・公式訪問の際のクラブ状況把握・すり合わせのために活用しています。

そんなこんなで、新年度が始まりました。前年度までは、新年度の開始早々から補佐訪問が開始されるスケジュールとなっていましたが、新年度はご存じの通り、地区大会が終了してから補佐訪問のスタートとなりました。松下ガバナーとしては各クラブとも新年度がスタートしたばかりで補佐訪問があっても、慌ただしくて十分な準備ができないだろうという配慮があったためですが、これはガバナー補佐にとりましても心の準備をする上で大変ありがたいものでした。

ガバナー公式訪問の原則2週間前にガバナー補佐訪問でグループ内各クラブを訪問します。この時に各クラブの状況を伺ったり、ガバナーや地区に対する質問事項などを預かりして、公式訪問の際にガバナーから答えていただくよう段取りする訳ですが、新年度は補佐訪問の際に各クラブに確認して欲しい内容についてガバナーから提示がありました。これをアンケート形式にまとめたものがこちらです。これを事前に各クラブ会長にご記入いただき、補佐訪問当日のクラブ協

議会ではこの内容に沿って各クラブの皆さんと取り組みなどについてスムーズな話し合いができたので、私としては非常に良いツールだったと感じております。そして私なりにポイントだと感じたことを「大箭メモ」という形でガバナーへの報告に追記するようにしました。皆様のご協力もあり、第4グループの補佐訪問・公式訪問とも11月には無事に終了することができました。

先述したガバナー補佐の任務の中で、担当グループ内の各クラブを定期的に訪問する、ということがあります。この上半期、私は全クラブの第1例会に出席し、会長方針を聞かせていただいたのを皮切りに、ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、先月のIMキャラバンと、少なくとも4回ずつ訪問させていただきました。茅ヶ崎クラブを除いて一番多いのは綾瀬春日クラブで、先程の4回以外に寺っこや食堂例会に2回、10月のコスマス例会にも参加させてもらったほか、7月のコスマスの種まき、11月の綾瀬クラブとの合同のエンドポリオキャンペーンにも参加してきました。

次に多いのが綾瀬クラブです。エンドポリオキャンペーンの他にも、12月に行われたトスボール大会、クリスマス家族例会にも声を掛けいただきました。

寒川クラブさんは例会は4回ですが、7月のロータリーの泉の清掃活動、11月のエンドポリオキャンペーンにも参加させていただきました。

茅ヶ崎湘南・茅ヶ崎中央両クラブは7月の海岸清掃の例会に顔を出させていただいているので、計5回例会にお邪魔したことになります。

それぞれのクラブごとに特色があり、訪問すれば何かしら新しい発見があるものです。今回、杉田実行委員長の提言もあって、IMキャラバンには新しい会員の方にもご参加いただき、短い時間ではありますが他クラブの例会の雰囲気を経験していただけたことは良かったと思います。

友人・知人が増えるというのは、ロータリーの大きな魅力の一つだと思っています。各クラブを回って奉仕活動にご一緒させていただく中で、知り合いの輪が広がっていくことを体感できることは非常に楽しいことだと感じております。

残すところ半年となりましたが、2月1日にはさっそくIMが控えています。今年度の各クラブの奉仕活動もまだまだ残っておりますし、5月にはグループ版新会員の集いも予定しています。一方でPELSやCLLSなど、次年度へ向けた準備も始まります。何だかんだで慌ただしく日々は過ぎていくことだと思いますが、何事もやる以上は楽しみながらやろう、ということをモットーにしておりますので、幸い「ああ、面倒臭くて嫌だな」などと思うことは一度もありませんでしたし、残りの半年も楽しく過ごすことだけを考えております。

最後になりますが、大森翔平さんにガバナー補佐幹事としていろいろとお手伝いをお願いしています。また、他にも新しい会員の皆さんにIM実行委員会に入っていただいております。私自身、まだ右も左も分からなかった入会3年目に田中PG年度の公共イメージ委員会担当の副幹事を仰せつかり、地区委員会を通じてさまざまな方とお会いし、交流を深める機会をいただきました。その時の経験がロータリアンとしての礎になっていると言っても過言ではありません。何事も自ら取り組んでみて、初めて楽しげが分かるものだと思います。皆さん当然ご自身のお仕事もあり、ご負担をお掛けすることにはなりますが、必ず将来プラスになると思いますので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたいと思います。

